

**厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）**  
**（分担）研究報告書**

**研究開発課題名：**iTesting チャネルによる HIV 検査体制の構築と確立のための研究

課題管理番号：22HB0101

研究分担者：野口 靖之（愛知医科大学産婦人科 准教授）

**研究要旨**

プライベートクリニックに iTesting への協力を得ることで、地域に HIV 感染症、梅毒に関する検査窓口 (iTesting@clinic) を設置することが可能になる。これまでの検討で iTesting 受験者からは、土曜日に営業している医療機関で検査を受けたいとの強い要望があることが判明し、iTesting@clinic には、土曜日や 17 時以降に検査可能な施設で実施する必要があると考えられた。本研究は、土曜日や平日 17 時以降に検査可能な 4 施設にアンケート調査を行い、iTesting@clinic の具体的な運用システムの構築を検討した。アンケート調査の結果では、土曜日、平日 17 時以降の実施は、他に救急対応を行っている総合病院では、困難と思われた。一方で、プライベートクリニックは、採血検体の遠心分離等の検体処理ができず、検査当日に検体回収を行うシステムを構築する必要が明らかになった。さらに、スタッフの安全管理面において針刺し事故が発生した場合に、匿名検査では針刺し事故発生時の対応ができないことに不安を感じるとの意見があり、Itesting@clinic の実施に向けて解決すべき課題と考えられた。

**A. 研究目的**

国内における HIV 感染者・エイズ患者は、医療機関への受診機会の少ない 20～30 歳代が半数以上を占める。また、HIV 感染症を診断されず AIDS を発症した「いきなり AIDS 症例」も存在する。さらに、梅毒についても、コロナ禍において増加がみられ、梅毒抗体検査を簡便に受けられる検査機関の整備が求められている。iTesting@Aichi&NMC は、HIV 及び梅毒感染に不安を持つ一般市民に対して匿名で HIV・梅毒検査を実施し、これら感染症の蔓延防止に成果をあげてきた。しかし、これまでの検討で iTesting 受験者から、土曜日に営業している医療機関で検査を受けたいとの強い要望があることが判明した。本研究は、土曜日や 17 時以降に検査可能な 4 施設にアンケート調査を行い、iTesting@clinic の具体的な運用方法を検討した。

**B. 研究方法**

Itesting@clinic 運用に向けた事前調査として総合病院（土曜日営業）、総合病院（祝日営業あり）、婦人科プライベートクリニック（夕診、土曜日営業）、メンタルプライベートクリニック（夕診、土曜日営業）にアンケートを依頼し、対面または ZOOM を用いて調査（下記内容）を行った。

- ✓ 採血前の説明は、WEB 媒体で十分か？
- ✓ 検査前に提供する説明文が他に必要と思うか？
- ✓ Itesting@clinic に関する質問に対応して希望者からの質問に対応できるか？
- ✓ 性感染症ハイリスク症例が来院された時、

Itesting@clinic に関する情報提供をして頂けるか？

- ✓ 貴施設で「梅毒」の治療経験はあるか？
- ✓ Itesting@clinic を貴施設で実施頂く際に、実施経費の支給を希望されるか？
- ✓ 平日午前診以外に、土曜日午前診、平日夕診においても Itesting@clinic を受け付け可能か？

**C. 研究結果**

検査実施前の説明については、4 施設ともに WEB に作成されている Itesting の説明文程度であれば可能であるとの意見を得た。エイズ拠点病院でない総合病院（土曜日営業）およびプライベートクリニックからは、HIV 感染症だけでなく梅毒結果判定に関する質問についても名古屋医療センターで一括対応の要望があった。また、婦人科プライベートクリニックから実施施設への経費の支給について初診料が得られないため採血量、検体管理料金を含めて 10000 円程度は必要との意見を得た。一方で、土曜日午前診、平日夕診での実施についてプライベートクリニックでは、採取当日に検体回収ができれば可能とのことであった。

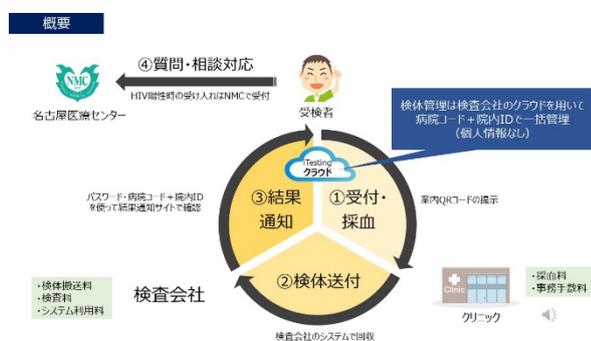
**D. 考察**

今回のアンケート調査で、平日 17 時以降の実施は、救急業務を担う総合病院では、困難と思われた。一方で、プライベートクリニックでは、土曜日、平日 17 時以降の実施が可能だが、遠心分離等の検体処理が行えず、検体一時保管が必要な提携検査センターと医療センターの契約が必

要と考えられた。さらに、婦人科プライベートクリニックからは、スタッフの安全管理面において針刺し事故が発生した場合に、匿名検査では針刺し事故発生時の対応ができないことに不安を感じるとの意見があり、Itesting@clinicの実施に向けて解決が必要な課題と考えられた。

## E. 結論

Itesting@clinicを運用するためには、総合病院よりプライベートクリニックに依頼することが妥当と考えられた。一方で、プライベートクリニックでは、検体処理と保管が困難なため、即日検体回収のシステムを構築する必要がある。また、Itesting@clinicは、被験者が匿名で運用されるため、針刺し事故が発生した場合の対策も検討する必要がある。



## G. 研究発表

### 1. 論文発表

- 野口靖之. 【産婦人科医のための感染症最新レクチャー】生殖医療 性器クラミジア・淋菌感染症と卵管不妊. 臨床婦人科産科. 2024;78(1):34-8.
- 野口靖之, 嶋津 光真. 【ポストコロナ時代の感染症診療】(第II章)感染症診療各論 性行為関連感染症

性器クラミジア感染症. 診断と治療. 2023;111(Suppl.):236-9.

- 野口靖之, 嶋津 光真. 【産婦人科領域の検査法-先制医療に向けて-】女性医学 女性のヘルスケア向上のための感染症スクリーニング検査. 産科と婦人科. 2023;90(7):755-9.
- 野口靖之, 嶋津 光真. 【妊娠に影響する感染症の最新知識】クラミジア感染症. 産婦人科の実践. 2023;72(7):683-6.
- 野口靖之, 西川 有紀子. 【ここまでわかった産婦人科の病態生理】(第4章)女性医学 性器クラミジア感染症. 産科と婦人科. 2023;90(Suppl.):349-51.
- 野口靖之. 【抗真菌薬選択がよくわかる 表在性皮膚真菌症・深在性真菌症の薬物治療】表在性皮膚真菌症の薬物治療 外陰部カンジダ症. 薬事. 2023;65(8):1584-6.
- 野口靖之. 【忍びよる性感染症の脅威とその対策】性感染症 診断・治療 性器クラミジア感染症. 臨床と研究. 2023;100(4):437-41.

### 2. 学会発表

- 当院の周産期症例におけるグラム陰性桿菌の薬剤耐性に対する検討 第75回日本産科婦人科学会学術講演会(東京) 2023.5.12
- 性感染症 第39回日本産婦人科感染症学会学術集会(長崎) 2023.5.21
- 性感染症診断・治療ガイドライン 性器クラミジア感染症 日本性感染症学会 第36回学術大会(東京) 2023.12.3

H. 知的財産権の出願・登録状況  
特になし。